

「フェイクを見極める」

開催地：大阪

グループ： 3班

2021.9.12

- ・現在のTwitterの状況
- ・情報を扱う自分たちにできること
- ・Twitterに求めたい新しい取り組み
- ・まとめ

現在のTwitterの状況（良いこと）

- トレンドで今の状況が分かる
多くの人の意見やコメントを見ることができる
→判断の材料になる
- いいねを押すことで自分の好きなものを評価することができる
- 引用ツイートで自分の考えを発信できる



現在のTwitterの状況（悪いこと）

- ・ 自分の好みにあった情報に偏って表示
- ・ いいねの数で決められやすい
- ・ 世界中に簡単に発信できてしまう
- ・ 詐欺や情報漏洩の心配



現在のTwitterの状況 (良い面であり悪い面)

- ・ すぐに発信できる。
- ・ すぐに拡散できる。



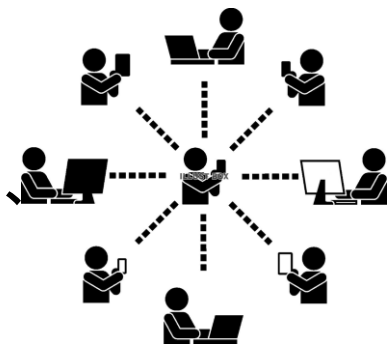
- ・ リプライなどでツイートに対する様々な意見が出すことができる。

情報発信者側にできること

- その情報が正しいかどうか判断してからツイートする
- 信頼できる理由をコメントなどできる
正しい情報や詳しく知っている人が情報を発信できる
- 引用リツイートの機能を使うことで、自分がどのツイートを見てそう思ったのかを提示することができる。

情報発信者側の新しい取り組み

- ・ ツイートする際に本人にアンケートを取る
確認事項「誰が何をどこでいつなぜどのように」や根拠のあるものなのかなどを本人に問うアンケート
- ・ 誤解等をなくすために一つの事を取り上げるのではなく、**多方面からの情報**を簡単に見られるようにまとめる
- ・ アカウントを作る際にTwitter利用にあたっての注意事項を載せる
(年齢制限など)



情報を受け取る側に今できること

- ・ 情報を発信・拡散する前に**本当に信用できるか**など一回考える



- ・ **いつ**・**誰が**発信したのかを考える

情報を受け取る側の新しい取り組み①

- ・ 見た人が信頼できるかどうか（3段階評価）押せる
ボタン
- ・ 信頼できないと判断した場合なぜそう思ったか書ける
場所

情報を受け取る側の新しい取り組み②

- ・ 評価したユーザーが一般人の多く信頼した政府が信頼できないや信頼したことを一般人と政府や有名人で分けて表示する
- ・ 切り抜き動画に対し
「切り取られています。」や「個人の意見です。」
の表示をして誤解をなくす



まとめ

- 定期的に誤情報が流れていないか確認できるようなシステムの導入
- Twitterに新しい取り組みを実施してもらう。



フェイクで混乱しない為の受け取り側の取り組み

ツイートする際に、本人にアンケートを取る。

→確認事項「誰が何をどこでいつなぜどのように」や根拠のあるものなのかなどを本人に問う。

見た人が信頼できるかどうか（3段階など）いいねボタンと同じように押せるボタンやなぜそう思ったか書ける場所を作る。根拠も信頼できるかが分かるといい。一般人の多くが押したボタンと政府など信頼できる者が押したボタンを表示する。「切り取られています。」「個人の意見です。」などの警告を増やす。

ニュースサイトでの対策

ニュースサイトなどに読者が記事に評価できるようにする。(信頼できるか)

信頼できる理由をコメントなどできるようにして、正しい情報や詳しく知っている人が情報を発信できるようにする。

いくつかの段階で評価できるようにする。

Twitterを安全に使えるようにするために

アカウントを作る際にTwitter利用にあたっての注意事項を載せる(年齢制限など)

→大切な項目は一つ一つ確認するように

twitterを開くときに、一度警告(?)のような確認の画面を表示する。(例：・記載されている情報をすぐに鵜呑みにしません...etc⇒【OK】)

フェイクや誤解をなくすために一つの事を取り上げるのではなく、多方面から見方や情報を簡単に見られるようにまとめる

誤情報を阻止するためにその記事の信用性を表示するものを示す